STARTS
スターツ

それは、スターツ風。

スターツには、創業以来変わらない風が吹いています。
それは〈人が、心が、すべて。〉という基本精神から生まれる、おだやかで脈々と続く風。
たとえるならば、真夏の高原に吹くそよ風。そこへ行けば、いつも同じ風が吹いている。
だから安心できる。スターツに吹く風は、そんな風です。

ここ数年、社会には不思議な風が吹いています。特定の人たちに一極集中したり、考え方の違う人に牙を向けてみたり、根こそぎ何かを覆えしたり…。勝ち組と負け組、優劣を一瞬にして決定づけるような、劇場型の風でもあります。それがどんなにドラマチックであろうとも、私たちはその風には乗りません。

合理主義や改革が主流とはいえ、いわゆるグローバルスタンダードがすべて私たち日本の文化に適しているとは言えないし、合理化することが必ずしも正しいとは限りません。もちろん改革も必要だけれど、日本的な考え方や制度にも、互助の精神や和の心など、変えずに受け継ぎ、伝え続けていくべきこともあるのではないでしょうか。

スターツは、創業以来変わることなく〈人が、心が、すべて。〉という基本精神を貫いてきました。切る捨てるではなく、拾う救う考え方。勝ち負けではなく、人を大切にする心。一歩一歩、地道に歩む社風ー。グループ内に多様な職種が存在するのも、そうしたスターツの理念の表れ。一度出会った人とは生涯離れたくないという思いから、たとえひとつの部署や業務に適性がなくとも、その人なりの個性や能力、人柄を活かし、活躍することのできる場を提供しつづけてきた結果です。こうした人材観が職場にもたらすものは、じっくりと仕事に取り組むことのできる安心感。それがお客様への真のホスピタリティーの源となり、永続性あるサービスにつながると信じています。

事業拡大においても常に長期的視野に立ち、コツコツ型を基本としているスターツですが、最近ではM&Aも行っています。しかし、決して事業拡大だけを目的とした敵対的買収ではありません。互いに心が通じあっていなければ、成功への道のりは険しいものになると考えるからです。スターツ流のM&Aとは、人と心を大切にする企業理念が一致するもの同士、ともに歩んでいこうという未来への選択なのです。

100メートルを全力疾走するのではなく、マラソンのように地味でも着実に人の役に立つ仕事を続けたい。時には疲れた人を少しでも癒せる、さわやかな風のような社風でありたい。すべての根底にあるのは、〈人が、心が、すべて。〉というスターツ風です。

人が、心が、すべて。STARTSのシンボルマーク。

基本精神「人」
人が両手を広げて喜ぶ姿をモチーフにしたマークから始まるスターツのロゴ。お客様の喜び、社員のやりがい、人ありきの企業経営を表現しています。

企業テーマ「スタート」
様々なスタートが集まる会社を意味したSTARTSの社名。お客様に新しいスタートを提供し、自らも新しいスタートを切り続ける活性化集団です。

企業ロマン「夢」
ロゴマークのARの重なりは、STAR（星＝夢）とARTS（創造＝実現）。大きな夢を持ち続け実現することがスターツ社員全員の企業ロマンです。

就活スターティングセミナーin 新高輪プリンスホテル開催
11月27日（月）大学1・2・3年生／短大・専門生対象　詳細はホームページをご覧ください。

www.starts.co.jp/

日本経済新聞 2006年9月28日掲載